

# 宿泊税を活用した今後の 観光振興施策について



仙台・宮城観光PRキャラクター  
むすび丸

# 1. 宿泊事業者部会・圏域会議での御意見を踏まえた施策案

## 現状・課題

## 目指す姿

## 注力していく施策

### 地域の魅力づくり・滞在期間長期化

- 地域独自の魅力創出が課題
- 夜まで楽しめる観光コンテンツが不足
- 人は来ているが、地域にお金が落ちていない。

- 地域資源を活かした特色ある観光地
- 夜まで賑わう、長期間滞在したくなる観光地
- 観光客で賑わい潤う観光地

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

- 地域の創意工夫ある取組の充実・事業主体の体制強化
- 宿泊につながるナイトタイム(夜間・早朝)コンテンツの充実
- 観光消費による地域経済への波及

### 交通アクセスの充実

- 公共交通機関でのアクセスが不便
- 交通案内が多言語対応していない

- 交通手段の多様化により周遊しやすい観光地
- 目的地までにスムーズに移動できる観光地

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

- 空港や最寄り駅など交通拠点からの交通手段、観光地内を周遊する交通手段の確保
- 二次交通の情報発信の充実

### 観光人材の確保・案内充実

- 施設スタッフの確保が困難
- 圏域内を広く案内できる専門ガイドが不足
- 観光案内が多言語対応していない

- 地域の雇用を生み出し、おもてなし力が高い観光地
- 外国人も快適に過ごせる観光地

### 施策3 快適な旅行環境のための受入環境整備

- 宿泊人材確保に向けたマッチング支援やスキルアップ支援
- 効率的・持続的経営支援
- 観光案内ガイドの育成・確保
- インバウンド向けの観光案内の充実

### 情報発信の強化

- 宮城県の認知度が低い
- 観光地のイベント情報が集約していない。

- 観光地の魅力を積極的に発信し、国内外から訪れたい観光地

### 施策4 効果的なプロモーションの展開

- 新規市場開拓に向けた宮城県の認知度向上
- SNS等を有効活用したデジタルプロモーションの推進

# 施策1 戦略的な観光地域づくり①

## 【重点テーマ】

- 地域の創意工夫ある取組の充実・事業主体の体制強化
- 宿泊につながるナイトタイム(夜間・早朝)コンテンツの充実
- 観光消費による地域経済への波及

## 【ポイント】

- 旅行者に選ばれる地域とするためには、その地域でしか体験できない観光コンテンツの創出と、コンテンツを作り上げる地域の体制を強化することが必要
- 多様な旅行者ニーズに訴求するため、モニターツアー等を行うことで評価検証を実施し、更なるブラッシュアップにつなげる。
- 観光消費が地域にお金が落ちる仕組みづくりを行う。

## 地域の創意工夫ある取組の充実

### 【事業主体】

- ①市町村、②県(地方振興事務所・地域事務所)

### 【事業内容】

- ①滞在時間の長期化につながるコンテンツや着地型商品の造成等(左記市町村の取組への財政支援)
- ②圏域ごとの課題解決に向けた県事務所独自の取組強化

## インバウンド向け観光コンテンツ磨き上げ

### 【事業主体】

- 県(観光戦略課)

### 【事業内容】

- ・欧米豪等現地旅行会社やオンライン旅行会社を対象としたモニターツアーの実施を通じ、観光コンテンツの評価検証、マーケットインによるコンテンツの磨き上げの展開
- ・上記を基に旅行商品として旅行会社等への更なる売り込み



## 宮城を訪れたくなる観光コンテンツ

## 観光地域づくりの担い手体制強化

### 【事業主体】

- DMO(観光地域づくり法人)、観光協会などの観光地域づくりに関わる団体

### 【事業内容】

以下の取組に対する財政支援

- ①観光コンテンツ造成・旅行商品販売  
地域に眠る観光資源の発掘や既存の観光資源の磨き上げ、旅行商品の企画・開発、集客イベントの企画・実施、着地型旅行商品の企画・造成等
- ②組織の体制強化  
新規事業実施に向けた体制強化として外部人材の活用や専門家派遣等

# 施策1 戦略的な観光地域づくり②

## 【重点テーマ】

- 地域の創意工夫ある取組の充実・事業主体の体制強化
- 宿泊につながるナイトタイム(夜間・早朝)コンテンツの充実
- 観光消費による地域経済への波及

## 【ポイント】

- 旅行者に選ばれる地域とするためには、その地域でしか体験できない観光コンテンツの創出と、コンテンツを作り上げる地域の体制を強化することが必要
- 多様な旅行者ニーズに訴求するため、モニターツアー等を行うことで評価検証を実施し、更なるブラッシュアップにつなげる。
- 観光消費が地域にお金が落ちる仕組みづくりを行う。



地域商店街でのナイトタイムイベント



地域食材を活用したインバウンド向けメニュー

## 観光を軸に地域が活性化



林業体験ツアー



漁業体験ツアー



ネタもシャリも全て宮城産

## 地域経済の好循環を促す仕組みの構築①

### 【事業主体】

一次産業事業者、飲食店、宿泊施設

### 【事業内容】

地域に根付く食材や食文化、農林漁業等の生業を活用した観光コンテンツの造成、磨き上げを行う事業者への支援

#### <磨き上げ例>

- 「食」
  - ・地域食材を活用したインバウンド向け新たな食メニューの開発(ヴィーガン、ハラル、グルテンフリー等)と旅行商品として旅行会社等への売り込み
- 「農林水産業体験」
  - ・地域の自然や歴史、文化を活かしたインバウンド向け体験型プログラムの旅行商品化

## 地域経済の好循環を促す仕組みの構築②

### 【事業主体】

地域の商工関係団体

### 【事業内容】

- 地域商店街等への交流人口呼び込みに向けた取組支援
- ・ここでしか買えない魅力ある地域土産の開発
- ・インバウンド向け商店街内での旅行商品の造成、磨き上げ
- ・宿泊、長期滞在につながるコンテンツの造成、磨き上げ
- ・上記を基に旅行商品として売り込み

## 観光需要取り込みに向けた環境整備

### 【事業主体】

地域の商工関係団体

### 【事業内容】

- ・インバウンド向け商店街デジタルマップの作成
- ・地図アプリ表示の多言語対応

# 施策2 周遊性向上のための三次交通対策

## 【重点テーマ】

- 空港や最寄り駅など交通拠点からの交通手段、観光地内を周遊する交通手段の確保
- 二次交通の情報発信の充実

## 【ポイント】

- 仙台空港から県内各地への送客強化を図り、県内滞在時間の増加を図る。
- 観光地における移動の利便性向上により、訪問意欲の向上や観光地での滞在時間の増加を図る。

## 仙台から他圏域へ・圏域間の周遊促進



## 観光地内・観光地間の周遊促進

### 【事業主体】

県（観光戦略課・地方振興事務所・地域事務所）・  
交通関係事業者・観光地域づくり団体

### 【事業内容】

多様な移動手段を確保し、観光地での移動に係る利便性向上を図る。

#### <周遊促進パッケージ策(例)>

- ・広域周遊バスツアー造成
- ・レンタカー利用促進
- ・レンタサイクル、電動キックボードの設置促進
- ・二次交通最適化(域内交通事業者間連携、オンデマンド交通、既存路線等の有効活用など圏域内での最適な交通手段を検証)

## インバウンド交通環境整備促進

### 【事業主体】

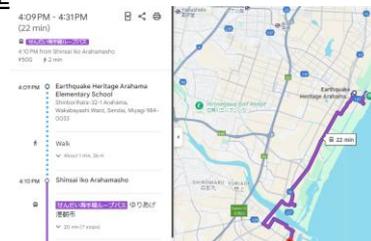
県（観光戦略課）

### 【事業内容】

公共交通情報の整備やWeb上の地図アプリの多言語対応を行うなど、旅行者の移動手段の円滑や満足度向上を図る。

#### <取組例>

- ・コミュニティバス等の路線情報のデータベース化促進
- ・Web上の地図アプリの多言語対応促進



# 施策3 快適な旅行環境のための受入環境整備

## 【重点テーマ】

- 宿泊人材確保に向けたマッチング支援やスキルアップ支援
- 効率的・持続的経営支援
- 観光案内ガイドの育成・確保
- インバウンド向けの観光案内の充実

## 【ポイント】

- 宿泊業の人手不足解消やおもてなし力の向上を図るとともに、観光案内の充実など**観光人財面での強化**を図る。
- 多様な旅行者に快適な旅行環境を提供するために、**設備面での機能強化**を図る。



## また来たいと思える観光地



## 観光ガイド機能強化

【事業主体】  
県(観光戦略課)

【事業内容】  
移動手段の担い手となりうるガイドドライバーや、特定の地域における訪問者の体験価値向上のため当該地域について精通してガイドを行うローカルガイドの育成を計画的に行い、受入環境の充実を図る。

## 宿泊業体制強化支援

【事業主体】  
県(観光戦略課)

【事業内容】  
・人材確保・定着支援(宿泊事業者と学生等求職者をマッチング、外国人を含む従業員の業務能力・おもてなしスキルの向上支援)  
・持続可能な経営支援(DX化・アウトソーシング導入支援)

## インバウンド受入拡大支援

【事業主体】  
県(観光戦略課)

【事業内容】  
・インバウンド市場がもたらす地域への誘客効果や地域での受入対応等に係るセミナー・個別相談会の実施【機運醸成】  
・上記踏まえた優良事例の横展開、必要な支援策検討【発展】

## 自然公園施設等受入環境整備充実

【事業主体】  
県(観光戦略課)

【事業内容】  
インバウンド向け旅行者の誘客拡大と満足度向上に向け、レストハウス等のWi-Fi整備や機能強化のほか、観光案内板の多言語化(ピクトグラム等)を行う。

# 施策4 効果的なプロモーションの展開

## 【重点テーマ】

- 新規市場開拓に向けた宮城県への認知度向上
- SNS等を有効活用したデジタルプロモーションの推進

## 【ポイント】

- 欧米豪からの認知度向上に向け、宮城・東北が一体となった観光プロモーションを展開
- 東アジア市場については、仙台空港国際線定期便がある地の利を生かし、富裕層の誘客・リピーター化を促進



宮城の魅力発信

## 新規市場(欧米豪)向けプロモーション

### 【事業主体】

県(観光戦略課)

### 【事業内容】

・東北各県と連携し現地旅行会社招請を行うとともに、現地旅行会社等とのネットワーク構築により、本県の魅力発信を効果的に行う。

・個人旅行(FIT)層の誘客拡大に向け、オンライン旅行会社向けのプロモーションを強化するとともに、SNSを積極的に活用したデジタルプロモーションを展開



## 既存市場(東アジア)向けプロモーション

### 【事業主体】

県(観光戦略課)

### 【事業内容】

・食、サイクリング、ゴルフ、スキー、トレッキング等の特定の目的に特化した旅行ニーズに対するプロモーションの展開

・海外SNSやインフルエンサーを活用したデジタルプロモーションの強化



# 2-1. 仙南圏域での施策活用イメージ

## 施策1 戦略的な観光地域づくり

### 現状・課題

- ▶仙南圏域外に宿泊するか、日帰りで仙南圏域を観光するケースが多い。
  - 仙南圏域内での宿泊・周遊のため、宿泊につながる夜間・早朝のコンテンツや新たなコンテンツの作成が必要
- ▶仙南圏域でしか体験できないコンテンツが知られていない。
  - 効果的な観光プロモーションが必要

### 【観光客入込数・宿泊観光客数】

(単位：万人、万人泊)

圏域	R5 (①)			R6 (②)			比較増減		
	観光客 入込数 A	宿泊 者数 B	宿泊者/ 入込数 割合B/A	観光客 入込数 C	宿泊 者数 D	宿泊者/ 入込数割 合D/C	観光客 入込数 C/A	宿泊 者数 D/B	宿泊者/ 入込数割 合②-①
仙南圏域	670	63	9.4%	708	63	8.9%	105.7%	100%	-0.5%
仙台圏域	3,936	727	18.5%	4,073	770	18.9%	103.5%	105.9%	0.4%
うち仙台市	2,523	601	23.8%	2,618	652	24.9%	103.8%	108.5%	1.1%

(出典：宮城県観光統計概要)

### 充実させたいコンテンツ例

- ① 「滞在時間を延ばす」・「宿泊者しかできない」体験型コンテンツ  
 夜間・早朝コンテンツのほか、酒蔵ツーリズム、スリープツーリズム、ファスティング（断食）体験等の作成

#### 【夜間・早朝コンテンツのイメージ】

宮城蔵王御釜ご来光見学ガイドツアー、白石城プロジェクションマッピング、天守閣でのディナー、かくだH2ロケットライトアップ、みちのく花あかり、おおがわら桜イルミネーション、齋理幻夜、阿武隈ライン舟下りナイトクルーズ、みやぎ蔵王えぼしリゾートナイトゴンドラ 等

- ② 「ここでしかできない」体験型コンテンツ

- ・仙南圏域のオルレコースと温泉、食を組み合わせたトレッキングツアー
  - ・蔵王ジオパークを活用したジオツアー
  - ・全国で5城のみ木造復元された白石城での本格甲冑体験
  - ・地域にある資源（地域主体で実施する体験など）の観光資源化
- ※①、②のコンテンツ作成については、閑散期対策や集客につながるターゲットのニーズを踏まえて検討を行う。

- ③ 効果的な観光プロモーション

- ・圏域の自治体と観光関係者の連携による各種SNS等を活用した広報
- ・著名なインフルエンサー等による仙南地域の誇る観光資源のPR

### 夜間・早朝コンテンツ



おおがわら  
桜イルミネーション



宮城蔵王御釜  
ご来光見学ツアー

### 「ここでしかできない」コンテンツ



宮城オルレ村田コース



本格甲冑体験

## 2-1. 仙南圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 現状・課題

- 白石蔵王駅を起点にした交通手段が知られていない。
- 電車やバスなどの公共交通機関から観光資源への二次交通手段が少ない。
- タクシー事業者の廃業により台数が少なく、観光資源への移動手段が限られる。

#### 【仙南圏域内交通手段の状況】

市町	鉄道駅	タクシー事業者	路線バス
白石市	5 駅	3 社	2 社
角田市	4 駅	2 社	—
蔵王町	—	1 社	1 社
七ヶ宿町	—	1 社	1 社
大河原町	1 駅	2 社	1 社
村田町	—	2 社	1 社
柴田町	3 駅	3 社	—
川崎町	—	—	2 社
丸森町	3 駅	1 社	1 社

(R7.6.各市町聞き取り調査)

#### 移動手段の充実に向けた取組例

##### ①交通手段の周知広報

圏域内の鉄道駅を起点とした交通手段（バス、タクシー、レンタカー、レンタサイクル等）の周知広報の強化（例：所要時間や乗り場などを示したモデルコースの作成・周知広報など）

##### ②レンタカーの利用促進

- ・長時間利用者へのレンタカー利用料金補助
- ・宿泊施設や道の駅等と連携したレンタカーキャンペーンの実施
- ・ホテル駐車場、ガソリンスタンド、駅前駐車場など、利便性の高い場所へのレンタカー業誘致推進

##### ③ライドシェアの検討

- ・仙南圏域におけるライドシェア利用可能性の検討



【ベネシアンホテル白石蔵王】



【大河原駅前】

## 2-2. 仙台圏域での施策活用イメージ

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

#### 現状・課題

- ▶ 観光資源が圏域内に点在している一方、それらをつなげて滞在や宿泊につなげる仕組みが十分でない。
- ▶ 宿泊税は観光目的以外の宿泊者(例:ビジネス利用等)からも徴収されるが、こうした層への観光情報提供が不足しており、地域内での観光消費につながっていない。

第6期みやぎ観光戦略プラン 仙台圏域の施策の方向性: 東北・宮城のゲートウェイ機能を活かした周遊性に優れた観光地づくり



地域特性(自然・食・文化・アニメなど)や震災遺構などの圏域特有の資源を活かした体験型観光やナイトコンテンツ、シンボリックな素材を磨き上げ、テーマ性とストーリー性を持たせた宿泊型観光ルートを造成し、連泊や閑散期の宿泊者数の拡大を図る。

#### 充実させたいコンテンツ例

##### 食と酒をテーマとしたツーリズム



地域の食と酒のマリアージュをテーマにし、圏域内の酒蔵ごとに食と組み合わせた観光ツアーを造成する。タクシーやハイヤーなども活用した富裕層向けプライベートツアーも企画。

例) 塩竈の寿司体験&浦霞酒蔵見学ツアー。

地域特性に応じたアクティビティコンテンツやナイトイベントなど時間帯別コンテンツ造成と宿泊を組み合わせた商品販売



地域特性を活かしたアクティビティコンテンツや、時間帯別コンテンツ(松島町の熱気球体験、仙台市のルミナクトなど)を造成し、これらを宿泊と組み合わせた商品として販売する。

例) アクティビティコンテンツ/松島湾での漁業体験  
時間帯別コンテンツ/大和町七ツ森湖畔での星空体験 など

観光目的以外の宿泊者も対象とした「地域情報ミニガイド」+ 地域内消費の促進



ビジネス・スポーツ等の観光目的以外の宿泊者も、アプローチできるように観光・飲食情報をまとめたQRコード付きミニガイドを施設に設置。地域内消費を促進する方策を検討。(例: 地域で使えるクーポンの配布等)

## 2-2. 仙台圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 現状・課題

- 公共交通機関ではアクセスしづらい観光地が多く、地域の特性に応じた交通支援の導入が必要。
- 過去の送客取組（例：松島地区の宿泊施設による循環バスなど）では、運営コストや関係者間の調整が課題となり、持続性の確保が課題。

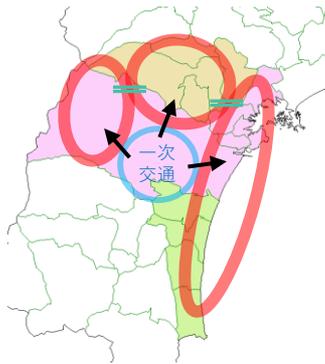
第6期みやぎ観光戦略プラン 仙台圏域の施策の方向性：東北・宮城のゲートウェイ機能を活かした周遊性に優れた観光地づくり



海上交通の活用や駅から観光地へのアクセス改善・滞在期間中の移動手段の確保など、多様なアプローチにより、面的な周遊性を高めることが有効である。

### 移動手段の充実に向けた取組例

#### エリアごとの二次交通支援



地域特性に応じた交通手段を導入・支援する取組と周遊ルートの構築。

- 例)・沿岸部  
→バス周遊運行、海上交通  
・仙台西部(秋保、作並)  
→宿泊送迎バス  
・内陸部(黒川郡)  
→交通デマンドタクシー

#### レンタカー事業者との事業連携



駅や空港発のレンタカー利用者を対象に、域内スタンプラリーやドライブ観光マップなどの周遊企画と組み合わせて利用料金を補助し、圏域内での滞在延長(宿泊数の増加や連泊)と観光消費の拡大を図る。

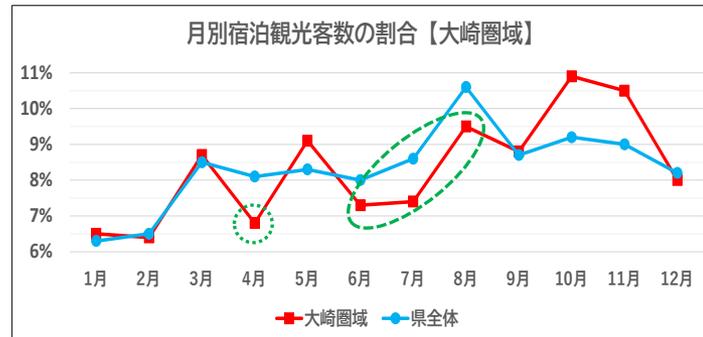
## 2-3. 大崎圏域での施策活用イメージ

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

#### 現状・課題

- 大崎圏域の月別宿泊観光客数の割合は、10月及び11月に県全体の数値より1.5%超高く、4月と夏季は県全体より1%程度低い  
 ☞ 宿泊する観光客を増やすため、閑散期の誘客推進が必要
- 観光客による散策や屋外でのアクティビティなどが可能となる環境整備に対する支援が不足している  
 ☞ 観光コンテンツの提供や整備、観光地における地域内連携に要する人手や手間、費用等に対する支援が必要

**各市町が行う観光振興施策に対する側面・後方支援も実施**



出典: 令和5年宮城県観光統計概要

#### 充実させたいコンテンツ・支援すべき取組の例

既存観光資源の魅力向上・情報発信や景観整備・環境保全に関する取組



閑散期誘客にもつながる多様な体験コンテンツの利用拡大に関する取組



健康志向など新たなニーズに応える滞在環境の整備と人材育成に関する取組



外部人材活用や専門家派遣などによる観光地域づくり法人の体制強化に関する取組



- 一例として、川渡温泉の桜並木において、周辺景観にも工夫を凝らすことで観光スポットとしての魅力を高めることや、鳴子峡以外の紅葉スポット等魅力的なコンテンツの情報発信、地域が一体となって行う魅力向上の取組と、その連携体制への支援

- 四季を通じた魅力づくりのため、夏のカヌー・SUP体験の利用拡大や、冬の星空観測ツアー、田んぼイベントなど体験プログラムの充実・造成

- 一例として、潟沼周辺の遊歩道やオルレコース等の滞在の満足度を高めるための整備のほか、エコツアーリズムなどの観光ガイドの人材育成・PR

- 持続可能な観光地域づくりのための体制強化

## 2-3. 大崎圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 現状・課題

- 令和6年度観光客実態調査において、最も不満に感じた分野を「交通機関」とした回答は、県全体が9.8%だったのに対し、大崎圏域では15.3%と高い割合を示した  
↳ 誘客及び周遊性向上のため、交通機関の利便性を高める必要がある
- 大崎圏域内の観光や交通機関に関する情報発信が不足しているほか、鉄道やタクシー、高速バス等の利便性が悪く、二次交通が充実していないため、圏域内の周遊に支障がある  
↳ 県内の主要駅や仙台空港における情報提供機能の強化や、圏域内の交通機関の利便性向上と利用促進に取り組む必要がある



#### ゲートウェイでの情報提供機能強化や二次交通の多様化・機能強化に向けた取組の支援を実施

#### 周遊促進に向けた取組例

首都圏・仙台圏からの大崎地域への来訪や地域内の周遊を促すための映像コンテンツやSNSを使った分かりやすい情報発信に関する取組



- 主要駅や空港におけるインバウンドにも配慮した映像放映、SNSによる情報発信、モデルコースのガイドマップ化(デジタルマップなど)

主要駅を起点とした二次交通の選択肢拡充と機能強化に関する取組



- デマンド交通などの運行支援、乗ることが楽しめる小型モビリティ(トゥクトゥクなど)の導入検討、レンタカーの利用促進、電動アシスト付きレンタサイクルの増備等の利便性向上への支援

公共交通の利用促進・利便性向上に関する取組



- SNS等を活用したフォトコンテストの実施などによる鉄道の魅力発信や、陸羽東線・高速バスなどの公共交通に関し、観光利用者等の利便性向上に向けた、関係機関との連携による働きかけ

## 2-4. 栗原圏域での施策活用イメージ

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

#### 現状・課題

- 観光客が紅葉シーズンなど特定の時期に集中する傾向があり、年間を通じた誘客に向けた取組が必要
- 日帰りの通過型観光が中心となっており、宿泊を伴う滞在型観光につながるよう、観光資源の再評価とさらなる磨き上げや、持続可能な観光コンテンツの造成等が必要
- 観光客の誘客に向け、広域的な連携の一層強化が必要
- 観光の取組を通じて、地域が儲かるための仕組みづくり等、地域観光の舵取り役を担う体制の整備が必要

#### 充実させたいコンテンツ例

コンテンツを  
生かすためにも

- 人を新たに(更に)呼び込むコンテンツ
- 滞在時間を長くするコンテンツ
- 広域で手を組むコンテンツ



- 観光消費額の増加につながる域内周遊・消費機会の創出
- 旅行商品の造成・販売体制の整備・拡充  
(商品の検証・磨き上げ、事業としての持続性の確保)

①他にはない自然・景観を生かした商品造成(栗駒山紅葉ヘリコプターツアーや栗駒山「花の百名山」ガイドつきツアーなど)



②「食」と「文化」の追求・体験ツアーの商品造成(酒蔵ツーリズム、風の沢art&cuisine、そば打ち体験ツアーなど)



③ナイトイベントや早朝の自然体験などと宿泊(体験)を組み合わせた商品造成(くりこま夜市やマンガンの飛立ちなど)



④テーマ性・ストーリー性のある広域周遊商品の造成(ジオパーク連携や旧奥州街道など)



## 2-4. 栗原圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 現状・課題

- 東北新幹線、高速バスが乗り入れており、首都圏や仙台圏からのアクセスに恵まれているが、そのことがあまり知られていない
- 駅や高速バス停留所から先の公共交通機関が観光客にとっては利用しづらく、夜間や早朝はタクシーの運行がなくなるなど、宿泊施設や観光地までの移動手段が限られる
- 圏域内の観光地や宿泊施設等が広範囲に点在しており、観光客の周遊促進には、移動手段の充実や分かりやすい情報発信が必要

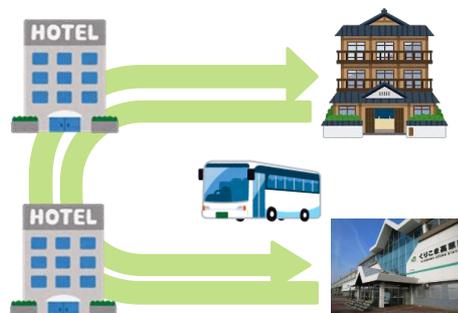
旧町村	JR駅	タクシー
築館	-	2社 (28台)
若柳	-	1社 (10台)
栗駒	-	2社 (11台)
高清水	-	(1営業所)
一迫	-	1社 (4台) (1営業所)
瀬峰	1駅	(1待機所)
鷺沢	-	(1営業所)
金成	1駅	1社 (4台)
志波姫	1駅	1社 (8台)
花山	-	-

#### 移動手段の充実に向けた取組例

①ハイシーズンやイベント開催時の周遊シャトルバス運行実証

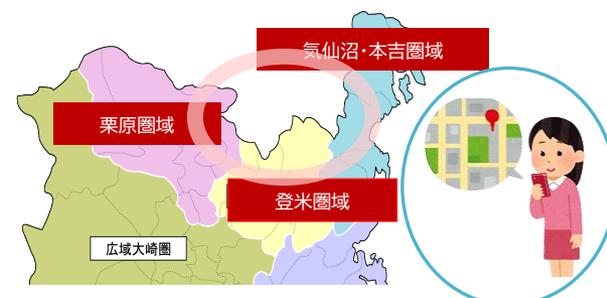


②宿泊施設への宿泊客送迎共同運行サービスの実証



【当日】くりこま高原駅⇒Aホテル⇒Bホテル⇒C旅館、【翌日】逆順

③新幹線駅を起点とする県北広域周遊のためのレンタカーの利用促進と、旅マエ旅ナカの広域周遊ルートの情報発信



くりこま高原駅⇒栗原市内⇒登米圏域  
～気仙沼・本吉圏域への周遊⇒くりこま高原駅

## 2-5. 登米圏域での施策活用イメージ

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

#### 現状・課題

➤ 登米圏域は「見るだけ」の観光が中心で、体験型観光や市内滞在を促す仕掛けが十分整備されていない。  
(令和6年度観光客実態調査:日帰り95.3%、宿泊4.7%)

👉 他の観光地にはない、登米圏域でしか体験できない自然や文化、歴史といった独自の魅力を発信できるコンテンツの造成が重要となる。

#### 充実させたいコンテンツ例

◆ それぞれの魅力ある素材を組み合わせたモデルルートを提案するなど、滞在時間の拡大を図る。

##### 👉 水辺コンテンツ



例:伊豆沼・内沼、北上川、豊かな米作りを支えるかんがい設備、宮城オルレ「登米コース」

##### 👉 体験型コンテンツ



例:田植えや稲刈り等に食体験等の付加価値を加えた農業体験、田舎暮らし体験(農泊)等、森林セラピー、木工体験、竹あかり作り

##### 👉 お花コンテンツ

###### 早朝・ナイトコンテンツ



例:みなみかた千本桜、平筒沼の桜、伊豆沼・内沼と長沼のハス、米山のチューリップ等

##### 👉 歴史・文化(信仰・食)コンテンツ



例:みやぎの明治村、登米伊達家の歴史、「登米能」等の民俗芸能や農村文化、隠れキリシタンの里(三経塚、米川教会)、登米神社(ペット御祈禱)、柳津虚空蔵尊、横山不動尊等

#### 【モデルルート例】

- ・「(仮)渡り鳥とみやぎの明治村ルート」
- ・「(仮)農泊とハスルート」
- ・「(仮)宮城・岩手県際信仰ルート」

伊豆沼・内沼のねぐら入り→「宿泊」→伊豆沼・内沼の飛び立ち→みやぎの明治村  
農業体験→「宿泊」→伊豆沼・内沼のハス→長沼のハス→海上連親水公園のハス  
一関市キリシタン殉教公園→隠れキリシタンの里→登米神社→柳津虚空蔵尊→横山不動尊



- 地域の資源を活用した観光コンテンツの造成、PRの支援
- 農業体験や農泊等の体験型観光の受け入れ支援

## 2-5. 登米圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 現状・課題

- 主要アクセス拠点(くりこま高原駅等)からの移動が困難。
- 登米市へのアクセス手段や市内の移動手段が限られ、情報もまとまっていない。
- 台数不足や地域差、高齢者・介護利用の集中により観光面でのタクシー確保が困難。

旧町	JR駅	タクシー	主な観光スポット、イベント等
迫町	2駅	2社(7台)	長沼フートピア公園、伊豆沼・内沼
登米町	-	-	みやぎの明治村
東和町	-	2社(6台)	三滝堂ふれあい公園、米川の水かぶり
中田町	-	2社(8台)	石ノ森草太郎ふるさと記念館
豊里町	1駅	1社(4台)	宮城オルレ「登米コース」スタート地点
石越町	1駅	-	チャチャワールドいしこし
南方町	-	-	みなみかた千本桜、花菖蒲まつり
米山町	-	1社(4台)	平筒沼桜まつり、米山チューリップまつり
津山町	1駅	1社(3台)	柳津虚空蔵尊、横山不動尊

#### 移動手段の充実に向けた取組例

##### 既存の交通手段の情報整理と積極的な発信



例: 経路や乗り継ぎをまとめて発信等

##### レンタサイクル、シャトルバスの運行



例: 自転車の活用により観光客の利便性を向上させる、桜や「はすまつり」のシーズンはシャトルバスを運行する等

##### 公共ライドシェア等の導入



例: 運営に向けてのプラットフォーム整備、運転代行サービスによる旅客運送等

○ 既存路線等の実態把握、最適なルートや交通手段の検証

○ 関連情報の収集  
○ 試験運行等の検討・調整

# 2-6. 石巻圏域での施策活用イメージ

## 施策1 戦略的な観光地域づくり

### 現状・課題

- ビジネス客の観光再訪促進のため、観光施設と連携したプラン作成や特典提供など、**満足度を高めるコンテンツが必要**である。
- 宿泊施設不足による日帰り・通過型観光への対策として、**圏域内外連携による周遊ルートや体験型プログラムの作成が必要**である。
- 多様な観光資源を十分に活用できていないため、観光地の魅力を引き上げ、**滞在価値を高めるための更なる磨き上げが必要**である。
- 観光産業の収益向上のため、「石巻圏域ならでは」の高付加価値サービスを充実させ、**観光客の消費行動を喚起する必要**がある。

### 充実させたいコンテンツ例

宿泊者を増やすため、「石巻ならでは」の観光コンテンツで満足度を高め、戦略的プロモーションで誘客促進を図る

#### 「石巻圏域ならでは」の観光プログラムの開発・提供



農業や漁業等の体験と食を組み合わせたツアー造成



マリンスポーツ等の体験コンテンツ開発・商品造成



一次産業連携による体験コンテンツ開発



先進地域等のアドバイザーによる助言等

#### 宿泊客の満足度を高め、滞在を促すためのサービス充実



コンセプトルームなどによる特別感の提供



イベントでのファストパスなど、限定サービスや特典の提供



滞在時間の延長と観光消費拡大を図るナイトタイムコンテンツの開発・広報



#### ターゲットを絞った戦略的プロモーションの強化



外国人に人気の観光スポットの発信強化



宮城奥レ利用者の宿泊誘導



スポーツ合宿や全国練習会等の誘致



スポーツツーリズムの推進

# 2-6. 石巻圏域での施策活用イメージ

## 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

### 現状・課題

- 観光施設間の移動（アクセス）が不便であり、**圏域内を観光周遊するための交通手段の確保が必要**である。
- 主要観光地への案内表示が不足しているため、**旅行者のナビゲーションを強化し、アクセス環境を改善する必要がある**。

移動手段の充実にに向けた取組例 **地域内観光の周遊性を高め、宿泊者向け交通特典で滞在価値を向上し、主要観光地からの誘客を図る**

### 周遊・滞在促進に向けた移動環境の整備



地域内の観光スポットをつなぐ観光周遊バス運行やデマンド型交通の導入



レンタサイクルや電動キックボードなど、個人客向けの移動手段の確保



自動運転バス等の最新技術を取り入れた実証実験



道路標識や観光案内表示の整備



EV充電設備の設置等に対する補助



地域資源を活用した体験型の移動サービスの導入

### 多くの観光客が集まる 仙台・松島等からの誘客の促進



松島～奥松島定期定期航路の活用



JR仙石線などの公共交通と連携した広域周遊との強化



仙台空港からの直行便による誘客の強化



観光客向け交通手段や周辺案内サポート

### 宿泊や優遇サービスの提供



観光周遊タクシーの1日フリーパス無料券の発行



送迎付きの体験型パッケージの提供

## 2-7. 気仙沼・本吉圏域での施策活用イメージ

### 施策1 戦略的な観光地域づくり

#### 現状・課題

➤当圏域の強みである地域資源を最大限活用することが求められている

- ①学ぶ(防災・震災)…学生の教育旅行に加え、BCP、リーダーシップの視点からの企業研修も注目されている
- ②遊ぶ・体験(アドベンチャーツーリズム)…トレイルやオルレ、サイクルツーリズム等。外国人の注目度も高い
- ③食べる(ガストロノミーツーリズム)…三陸の海鮮物や日本酒・ワイン。最近はスイーツにも力を入れている

➤イベント開催時は顕著に宿泊客数が増加することから、宿泊につながるイベントの誘致・充実が求められている(特に酒類を伴うイベントや早朝・夜に実施するイベントの充実、閑散期(冬季)のスポーツイベントの誘致等)

#### 充実させたいコンテンツ例

##### 学ぶ

防災・震災を活かした  
教育・研修旅行



- ・修学旅行や企業の研修旅行
- ・伝承施設や震災遺構の紹介

##### 遊ぶ・体験

アドベンチャーツーリズム



- ・トレッキングやサイクルツーリズム
- ・気嵐やSUP、HOBIE等自然体験

##### 食べる

ガストロノミーツーリズム



- ・海鮮や日本酒、ワイン、スイーツ

##### イベントの誘致・充実

宿泊につながるイベント  
の誘致・充実



- ・酒類の提供や夜間のイベントの強化
- ・スポーツイベントの誘致



このほか、漁業体験、ブリッジシティ、ライトアップ等のコンテンツ等の充実も必要。また、荒天時でも楽しめるコンテンツも要検討

## 2-7.気仙沼・本吉圏域での施策活用イメージ

### 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

#### 課題

- 観光地が点在しており、観光地間の移動が困難。
- 仙台駅・仙台空港からのアクセス手段も乏しい。

#### 現状

- 多くの観光客が自家用車・レンタカーを利用している。
- 宿泊事業者が独自に最寄りの駅までの送迎を実施。  
(観光地までの送迎は人手や費用面から困難)

レンタカー利用者に対する支援や、公共交通機関で来られる方への交通手段の確保が必要

### 移動手段の充実に向けた取組例

#### 宿泊客のレンタカーの利用促進

- 以下の要件を満たす旅行者に対して、宿泊費を一部助成
- ① レンタカーを使って本圏域を訪問
- ② 本圏域内の宿泊施設に宿泊

- 仙台駅・空港や他県からの利用者も対象
- 広域的な観光周遊を促進



#### 宿泊施設共同運行デマンド交通の導入

区域の宿泊施設が共同で運行するデマンド交通を導入。最寄りの公共交通機関の駅その他、近隣の観光地への送迎も対応。



## 施策1 戦略的な観光地域づくり

### ○みちのく潮風トレイルなどのトレッキングを活用した観光施策の推進

- ・圏域の強みの一つである「みちのく潮風トレイル」や「宮城オルレ」など、トレッキングを活用した観光コンテンツの磨き上げ・創出を優先的に進めるべき

### ○宿泊につながるイベント等の誘致・充実

- ・スポーツ等のほか、いわゆる「推し活」に刺さるような集客力が高いイベントを時期を考慮しながら誘致すべき。
- ・伝承施設や震災遺構などを紹介する教育旅行に加え、企業の研修旅行の誘致も推進すべき。

## 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

### ○宿泊客のレンタカーの利用促進

- ・圏域の周遊性向上を図るため、宿泊事業者やレンタカー事業者、県が一体となってレンタカーを利用する宿泊客に対する支援制度を優先的に構築すべき。

## 施策4 効果的なプロモーションの展開

### ○効果的な情報発信

- ・情報発信に当たっては、インバウンド向けと国内向けに分けて考え、特にインバウンド向けは相手国のユーザーが利用している検索サイトや地図アプリ等に留意すべき

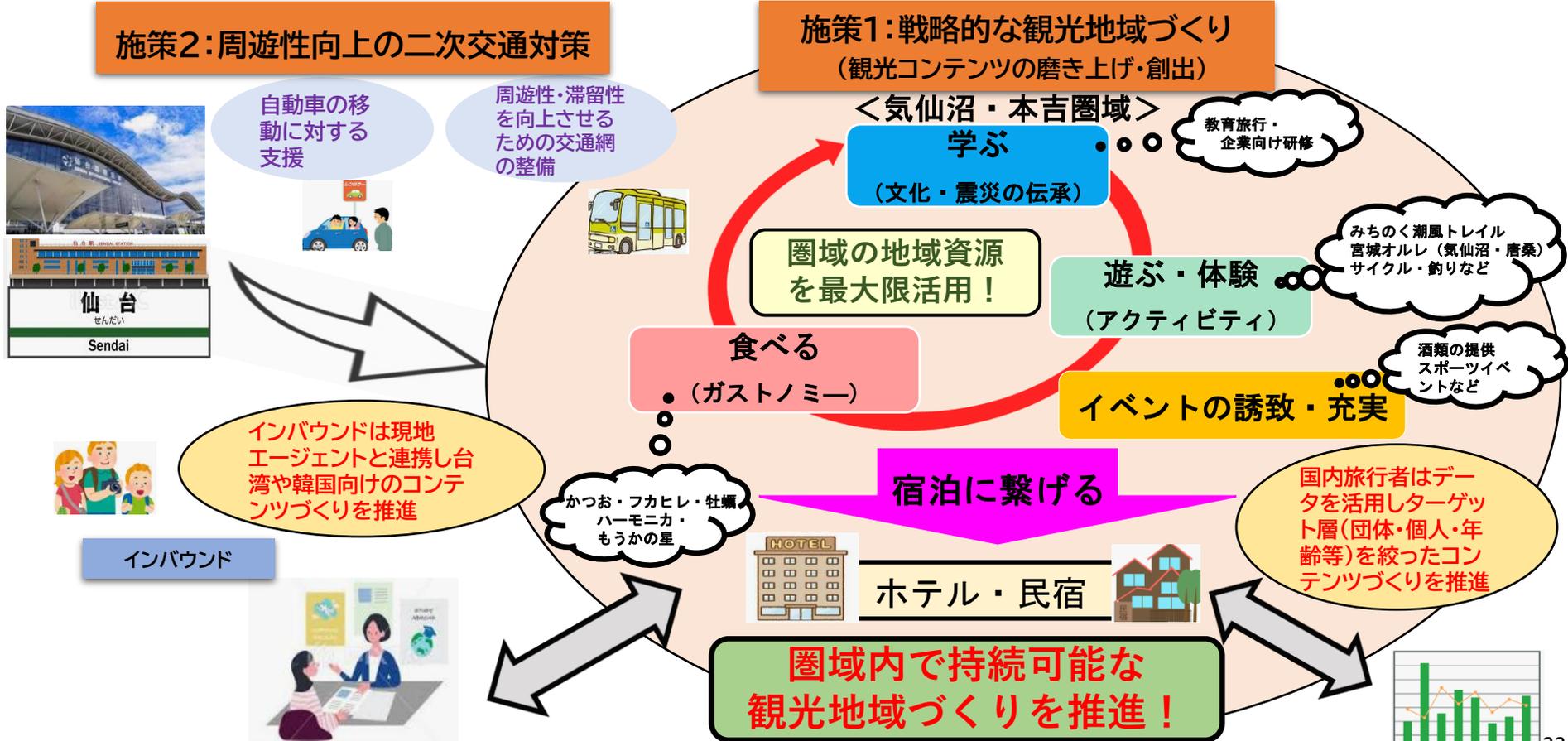
# 【参考】当圏域での施策活用イメージについて(施策1及び施策2の方向性)

## 施策1 戦略的な観光地域づくり(観光コンテンツの磨き上げ・創出)

- 当圏域の地域資源を最大限活用し、**宿泊につながるような観光コンテンツづくりが必要**
- コンテンツづくりの際は、**ターゲットをインバウンド向けと国内旅行者向けに分けて考えるべき**
- インバウンド向けは、**現地エージェントと連携しながら、これまでの繋がり強みを活かして台湾や韓国をメインターゲットとすべき**
- 国内旅行者向けは、既存データを有効に活用ながら**ターゲット層を絞ったコンテンツづくりが必要**

## 施策2 周遊性向上のための二次交通対策

- 当圏域の観光地への**移動手段の9割がレンタカーを含む自動車であり、自動車の移動に対する支援が必要**
- 圏域内の**周遊性・滞留性を向上させるための交通網の整備が必要**



# 3. 御意見を頂戴したいこと

## 宿泊税活用施策案について（P2～6）

○施策案の中で、具体的な活用策について御意見はありますか？

例①：

〇〇（観光スポット）はインバウンドに人気があるので、観光タクシー等の運行により二次交通の確保と合わせて、周遊促進が期待できるのではないか。

例②：

以前地域の食をテーマにSNSにより情報発信をしたところ、若い世代の観光客が増加したことから、県全体で取り組むことにより、更なる誘客が期待できるのではないか。

### 3. 御意見を頂戴したいこと

---

以下の3つの視点も参考に御意見を申し上げます。

- 【視点①】地域の観光業が抱える課題への対応・地域の魅力創出に向けた施策など“地域”視点での検討に加え、隣接圏域等との連携による“広域周遊”の視点を踏まえ施策を検討
- 【視点②】宿泊税を納める“納税者(宿泊者)”の視点で有益な使い途施策を検討
- 【視点③】“地域経済活性化”の視点で、滞在時間が長く、消費額単価が高いインバウンドや宿泊観光客の増加に向けた施策や高付加価値化に向けた施策を検討